

會報

第一三九號

日本山岳會

通常總會御通知

日時 昭和二十二年六月二十二日(日)午後二時
場所 交通文化博物館(神田萬世橋際)

議題

- 一、昭和二十一年度事業報告及本年度事業概要
- 一、昭和二十一年度決算報告及本年度豫算
- 一、其他

昭和二十二年五月

社団法人 日本山岳會

追而當日缺席の方で御意見のある方は前日迄に申出るよう、御意見の申出なく缺席の方は委任出席としての取扱を致しますから何卒御了承下さい。
出席の方は本會報御持参下さい。

山の幻燈會

日時 總會終了後(午後三時)

場所 總會々場

- 一、ナンダゴット 立教大學登攀隊撮影

説明者 濱野正男氏

尚都合によつて右の代りに、アイガー(横氏登攀の時のもの)、又はスイスアルプス(アグフア天然色)のライカ判のもの(佐賀氏所有)を映寫することになるかも知れませんが、來會を希望します。

役員會

三月六日 午後一時リッツで
出席者 武田、松方、藤島、入澤

谷口

- 一、雜誌「山」に關する件
- 一、近く會報を發行すること
- 一、支部本部間の會計關係事項
- 一、傷害保險等を本會で取扱ふ件
- 一、關西支部についての件
- 一、取やめとなつた山岳選書の原稿取戻の件

四月十日 午後一時リッツで

出席者 松方、石川、谷口、濱野

入澤、沼井、

東京支部 中屋

- 一、會費徵集支部委託並に手数料拂戻の件
 - 一、中部日本觀光展にウエストン像出品の件
 - 一、雜誌「山」再刊計畫經過報告
 - 一、關東學生聯盟の件
 - 一、關西支部、東京支部報告
 - 一、ウエストン基金創設の件
- 四月二十四日 午後一時リッツで
出席者 藤島、入澤、濱野
- 一、山「用紙に關する件
 - 一、昭和二十一年度收支決算報告
 - 一、昭和二十一年度豫算案を決定(別項記載の通り)通常總會に提出のこと
- 五月八日 午後一時リッツで
出席者 石川、松方、藤島、谷口
入澤、濱野
東京支部 中屋、村井

關西支部 篠田

- 一、關西支部、東京支部報告
- 一、體育會アマチュア規定委員會には中屋氏會を代表して出席のこと

一、關東學生山岳聯盟結成に關する報告

一、通常總會は六月十四日又は二十一日に開くこと

一、山「編輯委員を左の通り委嘱

〇垣内、谷口、關根、林、大洞
濱野、今村(〇印委員長)

昭和二十一年度

收支決算報告

收入ノ部

入會金	一、三一五・〇〇
會費	一〇、六〇七・五五
出版物頒布收入	一四、三七六・六九
雜收入	六、四五三・九四
基金ヨリ借入金	五、〇〇〇・〇〇
繰越金	四、八一〇・二八
合計	四二、五六三・四六
支出ノ部	
會報出版費	一五、四七六・六二
交通通信費	二、〇二四・九〇
調査集會費	一、五三〇・九五
發送運搬費	一、八〇二・〇〇
關西支部費	六九九・一五
編輯費	一、一二九・八〇
消耗品費	二、七二七・一三
給料	七、七五〇・〇〇
雜費	二、〇八六・八五
借入金返済	五、〇〇〇・〇〇

計 四〇、二七・四〇

差引剩餘金 二、三三六・〇六

合計 四二、五六三・四六

昭和二十一年度豫算案

收入ノ部

入會金	四〇、〇〇〇・〇〇
會費	八二、五〇〇・〇〇
體育會補助金	一〇、〇〇〇・〇〇
其他收入	二五、一六三・九四
繰越金	二、三三六・〇六
合計	一六〇、〇〇〇・〇〇
支出ノ部	
會報費	二四、〇〇〇・〇〇
發送費	二九、〇〇〇・〇〇
交通々信費	五、〇〇〇・〇〇
消耗品費	一〇、〇〇〇・〇〇
研究調査、集會費	二〇、〇〇〇・〇〇
委員會、編輯費	二〇、〇〇〇・〇〇
人件費	二四、〇〇〇・〇〇
豫備金	二八、〇〇〇・〇〇
合計	一六〇、〇〇〇・〇〇
右決算報告、豫算案共に本年度通常總會にて承認を得ること要するものである。	

ウエストン像復舊

上高地梓川畔の岩にはめぐんであつた本會のウエストン氏ブロンズ像は、戦時中本會の手で取外し事務所に保管してあつたが、罹災のため焼損してしまつた。昨春秋その修理が出来たのでこの初夏の候を期し復舊することゝなつてゐたが、いよいよ六月十四日午後

に除幕することに決定した。十三日夜行で新宿發、松本からトラツクの便ある豫定、又上高地には松本警察松高山岳部の好意により五人入り天幕が張られることとなり宿泊可能である。

關東學生山岳聯盟の結成

戦争によつて全く潰滅状態となつて活動を停止してゐた學生山岳界も終戦以來各學校ともOB、現役一體となつて再建の歩みを始めてきたが、現下の困難な情勢でも學生山岳界の水準向上のため各學校山岳部の横の連絡の必要が痛感されてゐた。

このため昨年九月まず學生山岳懇談會の形で東京地區の學校は連絡をとつてきたのであるが、更にこの組織を強固にするため昨年秋季以來各學校OB現役を主體に種々協議の上關東一都九縣（東京、埼玉、茨城、栃木、群馬、千葉、神奈川、山梨、静岡、長野）の大學高専の名學校山岳部によつて「關東學生山岳聯盟」を結成することが最良だと決定、去る五月十一日東京神田「交通文化博物館」講堂で發會總會を行つた。

參加校は三十四校、今後増加の見込で、役員は左の通り選任會長 三田幸夫

理事 谷口現吉、關根吉郎、藤井運平、村山雅美、藍田努、伊藤康

介、島崎品已

幹事校 慶應、早稻田、東大、立教、明治、青山學院、明治藥專
發表係 垣内政彦（共同通信社）

支部事業計畫

越後支部

新潟支部は越後支部と改稱することゝなつた。

六月廿八日發會記念苗場山登山を行ふ。

季刊 越後山岳發行
其他の計畫は追て發表

石川支部

四月より七月迄六回に分けて山岳講座を商工會議所で開催
四月二十二日午後六時半

山の親しみ方 阿部壯次郎
五月六日

山と氣象 伊藤 龜雄
山の寫眞 橋本 忠吉

五月二十日 郷土の山々 磯野 三郎

六月三日 山と動植物 中村久米人
山と地質地形 磯野 三郎

六月十七日 山と文學 橋本 勢岐
山と信仰 紀 俊嗣

七月一日 白山 玉井 敬泉

七月五日 ダンスパーティー山の夕

登山 各班に分れ倉ヶ岳、醫王山等の近くの山々を歩き廻つて

四月十七日—二十日 白山登山を行ふ

フリーダー 磯野 三郎
白山集團登山 七月下旬、申込

石川支部（金澤市五寶町九一）
醫王山集團登山九月下旬

其他毎月第一土曜例會に發表
山岳映畫會 九月下旬

山岳展覽會 六月中旬
其他計畫中

東京支部

一月二十九日第一回準備會を交通文化博物館に開き、茂木、山下、石原、中屋、村井出席。以後準備會を重ね結成發表迄漕ぎつけた。

四月十九日結成發表講演と映畫の會。

東京支部設立報告 松方三郎
支部長挨拶（代理） 村井米子

講演「登山について」 田部重治
懇談の時間 司會 町田立穂

映畫 二巻
五月三日 新憲法施行記念第一

回都府育大會講演會
東京附近の山々 坂倉登喜子

春の穂高岳 早大山岳部員
日本の山々 松方 三郎

幻燈「ナンダコット」 説明
五月四日 丹澤山集中登山（山岳團體聯合會主催）に参加

五月十六日—二十日 茂倉岳登山（根據地—芝倉澤成蹊小舎）

夏山講習會 於交通文化博物館
六月十七—二十日

登山案内所開設
六月二十日より約三週間午後一時より五時

有樂町交通公社中央事務所に於て
七月 中

ナンダコットスライドを觀る會
交通文化博物館にて

七月 中
ハケ岳山麓に花をたづね 尾崎喜八、河田植氏を圍む會

富士山集中登山（科學者を含む）
午後五時 於岸體育館 毎月第一

木曜 懇談會

其他、遺難對策委員會、山小屋宿舎、案内人等の調査等根本的問題にも數種の計畫をすゝめてゐる。

關西支部
一、毎月二回第一第三木曜日委員會

二、毎月一回「山の集ひ」講演、登山報告、懇談、時に映畫、幻燈

三、六月下旬山岳講習會開催
四、十一月下旬冬山講習會開催

五、登山用具の檢定
六、バッザの製作頒布

東京支部
夏山講習會々員募集

六月十七—二十日 四日間毎夕五時

〇地圖の見方と日程の立て方
〇夏山の雲と氣象

茂木慎雄
藤原咲平

〇夏山用具と服裝 村松 巖

〇日本アルプスの地理と歴史 田中 薫

〇高山植物 塚本間治
〇婦人と登山及登山衛生 武田久吉

〇高山植物 武田久吉

會費 十五圓（一回五圓）
會員外三十圓（一回十圓）

申込 日本山岳會東京支部
（神田駿河臺岸體育館）

又は會場

信濃支部創立記念
講演映畫會

六月十六日午後五時
松本市に於て

講演 横有恒氏、松方義三郎氏
映畫 ナンダコットの登攀

説明 竹節作太氏
（交渉中）

片桐の
ルツクザツク
アノラツク 仕立

天 幕

多年にわたり會員各位より信頼を得て製作を續けて居りますが、製品は常に改良せられつゝあります何卒御相談下さい。

元神田今小路
片桐盛之助

長野縣下伊那郡喬木村
阿島上町一ノ九三八

阿島上町一ノ九三八

會費等の拂込について

會費は本年は六月末日までに拂込むことになりました。會費は本會の収入の主なるものであり、本會はこれによつて事業を営むのでありますから、一日も早く御拂込下さい。

會費の拂込方法は本年からは原則として各々の支部を通じて拂込むことになりました。従つて本部會費三十圓に支部會費を加算したものを(新入會者は入會金二十圓をも加えて)支部に御拂込下さい。

支部がその地方に組織されていなく、他の事情から、直接本部に會費を拂込まれる場合はこの限りではありません。會費を拂込まれた會員に對しては領收書の代りに今年度の會員證を御送りします。

振替貯金は手数料として一圓五十錢を差引かれますから、振替送金の場合は右金額を加えて御送り下さい。

◆本會振替口座東京四八二九番

◆東京支部所在地 東京都千代田區神田駿河臺陸體育館内振替口座東京一九五七八二番

所屬範圍 東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬

支部費 二十圓

◆關西支部 大阪市北區堂島上一丁目日本貯蓄銀行三階

振替口座大阪五五九五〇番

所屬範圍 大阪、京都、兵庫、和歌山、奈良、滋賀

支部費 二十圓

◆越後支部 新潟市祝町四八八八藤島玄方所屬 新潟縣

支部費 十圓

◆石川支部 金澤市五寶町九一磯野三郎方所屬 石川縣

◆登山傷害保險の取扱ひ◆

本會は東京海上火災保險株式會社と特約を結び、登山を主とした傷害保險の取扱ひをすることになりました。會員各自が保險會社と直接契約される手續を本會が代行するのであります。この傷害保險は登山のみならず、日常生活での交通事故など一切の傷害にも適用されます。左記事項諒承の上、なるべく多數の會員が契約されることを切望します。

申込先 日本山岳會

保險料 保險金一萬圓につき一ケ年五十五圓 保險金は一口一千圓以上のこと

申込に際しては氏名、年齢(満何歳)、住所、職務、保險金額を明記のこと。(十歳以下、七十歳以上の方は保險會社で受けません)

附記 右の保險は死亡、兩眼失明、兩手兩足の切斷等に保險金の全額が支拂はれ、以下傷害の程度に應じ治療費が支拂はれますが、請求方法等については次回會報でお知らせします。

申込は必ずしも會員とは限りません。家族申込も受付けることになつてゐます。

保險料は小爲替又は振替貯金でお送り下さい。振替送金の際はその料金一圓五十錢をお忘れなく加算下さること。又振替送金は到達遅延の場合もあるので、拂込領收書と保險申込に必要な事項を別にお送り下さい。

圖書基金受領

拾圓	田邊 主計氏	拾圓	村瀬 圭氏
拾圓	北田 正三氏	拾圓	安井信之助氏
拾圓	植村 耕三氏	拾圓	三原 芳氏
拾圓	原 藩氏	拾圓	永谷 義三氏
拾圓	松岡忠太郎氏	拾圓	下村 雅司氏
拾圓	扇山 孝夫氏	拾圓	大熊 保夫氏
拾圓	北川 俊一氏	拾圓	近藤 貞雄氏
拾圓	田邊文一郎氏	拾圓	稲富 敬氏
拾圓	山田 多市氏	拾圓	船戸 節夫氏
拾圓		拾圓	平田 宗男氏

受贈

五圓 通信費として

拾圓 月原俊二氏

拾圓 早川安治氏

拾圓 山川修一氏

百拾四圓 講習會剩餘金

壹千圓 學生懇談會

故戰没會員 桔梗谷治氏

追善供養として 桔梗谷治策氏

受贈圖書

南アルプスと奥秩父 望月 親氏

山ノ一摘(梓書房) 齋藤武男氏

物品受贈

算盤一丁 藤島 玄氏

人名簿二冊

同 藤島 玄氏

月刊“山”發行

Ⅱ 購讀申込受付 Ⅱ

山は會報としてではなく、月刊山岳雜誌として五月號から發行することになった、五、六月合併號は差當りB列本文三十二頁の豫定である。編集、發行は本會の手で、印刷發賣は日本交通公社の手にゆだねる。會員の分は本會で確保するが、經費の關係上この誌代は會費とは別に負擔を願ふ必要があるので、購讀の方は左記により至急申込下さい。會員には割引頒布するが、取扱手續上概算拂込をお願いしたい。

購讀料半年分概算 五十圓

同 一年分概算 百圓

右の二種のうちいづれかを小爲替又は本會振替口座（東京四八二九番）で送金のこと。振替貯金の場合はその料金一圓五十錢を必ず加算のこと。

會員定期集會再開

暫く中絶のかたちであつた會員集會を復活します。當分は最終土曜日午後一時より。六月二十八日、七月二十六日、八月三十日。

會員章頒布

見事な會員章が出来上りました
頒價二十五圓（送料共）

日本山岳會監修

日本交通公社發行

鳥瞰圖

Map of Alps

Map of Fuii

六月中發賣

昭和廿二年六月十日發行

發行所 日本山岳會

電話掛出（一九五九番）總會

（三二四番）分會

印刷所 富士興業株式會社

東京都中央区日本橋久松町二〇